

令和元年度 消防団危険予知訓練（S-KYT）研修が行われました

令和元年11月23日（土）滋賀県消防学校に場所をお借りし、消防団危険予知訓練（S-KYT）研修が行われました。

講師には、消防団員等公務災害補償等共済基金 S-KYT 指導員の、元京都市消防学校長の森方功（もりかた いさお）様、元東京消防庁第一消防方面本部副本部長の高堀 正一（たかほり まさかず）様、元名古屋市消防局港消防署長の清水 久雄（しみず ひさお）様をお招きし、約4時間にわたり、講義や実技、DVD上映等で安全活動を学ばれていました。

S-KYT研修とは、初めて経験するリーダー団員を対象に、消防団員の安全活動のための様々な手法を経験し、日常の現場で危険に対する予知能力を高め事故を未然に防止するための訓練です。

研修では、32名が6チームに分かれ、チーム単位の自己紹介の後、講師による講義、消防団員安全教育（S-KYT編）のDVD上映がありました。

実技1では「指さし呼称」「指差し唱和・タッチ&コール」という、一人一人が消防活動を安全に行うために、活動の要所要所で行う「確認行動」の有効な方法の1つで、それぞれチームごとに分かれ、「ヨシ！」と気合いの入った掛け声で実践されていました。

午後からは、実技2「健康自己チェック」「健康問いかけKY」でリーダーはメンバー一人一人の健康状況を観察、具体的な問いかけ方法を学び、実技3では、イラストシートを用いて、活動現場に潜む様々な危険を見抜くシュミレーションで、各チームごとに意見を出し合いました。

その後、各チーム毎にS-KYTレポートで、危険要因、危険のポイント、危険のポイントに対する具体策、チームの行動目標を記載し、意見発表が行われました。

参加された団員の皆様は、S-KYT指導員のわかりやすく丁寧な説明に真剣にメモを取るなどされており、一日を通して様々な手法や予知の仕方を学ばれ、チームとしての一体感・連帯感を高められていました。皆様、大変お疲れさまでした。





S-KYT指導員 森方 功 様



S-KYT指導員 高堀 正一 様



S-KYT指導員 清水 久雄 様



研 修 風 景



